

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年1月27日
【発行者名】	ラサールロジポート投資法人
【代表者の役職氏名】	執行役員 藤原 寿光
【本店の所在の場所】	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
【事務連絡者氏名】	ラサールREITアドバイザーズ株式会社 取締役財務管理本部長 石田 大輔
【電話番号】	03-3507-5812
【届出の対象とした募集（売出）内国投資証券に係る投資法人の名称】	ラサールロジポート投資法人
【届出の対象とした募集（売出）内国投資証券の形態及び金額】	形態：投資証券 発行価額の総額：一般募集 66,947,867,500円 売出価額の総額：オーバーアロットメントによる売出し 4,579,200,000円  (注1) 発行価額の総額は、本有価証券届出書の訂正届出書の日付現在における見込額です。 但し、今回の一般募集の方法は、引受人が発行価額にて買取引受けを行い、当該発行価額と異なる価額（発行価格）で一般募集を行うため、一般募集における発行価格の総額は、上記の金額とは異なります。 (注2) 売出価額の総額は、本有価証券届出書の訂正届出書の日付現在における見込額です。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 1 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成28年1月7日提出の有価証券届出書の記載事項のうち、国内一般募集における発行価格の決定に先立ち、発行価格の仮条件が決定されましたので、「第一部 証券情報」のこれに関連する事項その他の記載内容の一部を訂正するとともに、「第二部 ファンド情報／第1 ファンドの状況／5 運用状況」に記載され、「第四部 その他」で目論見書の表紙以降に記載するとして借入れに関する情報を新たな情報に訂正するため、本有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 証券情報

#### 第1 内国投資証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除く。）

##### 1 募集内国投資証券

(4) 発行価額の総額

(5) 発行価格

(15) 手取金の使途

##### 2 売出内国投資証券（オーバーアロットメントによる売出し）

(4) 売出価額の総額

#### 第5 募集又は売出しに関する特別記載事項

##### 1 海外市場における本投資口の募集について

② 海外募集における発行価額の総額

##### 3 ロックアップについて

### 第二部 ファンド情報

#### 第1 ファンドの状況

##### 5 運用状況

(2) 投資資産

④ 借入れの予定

### 第四部 その他

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_ 罫で示してあります。

## 第一部【証券情報】

### 第1【内国投資証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除く。）】

#### 1【募集内国投資証券】

##### (4)【発行価額の総額】

<訂正前>

72,125,000,000円

(注) 後記「(13) 引受け等の概要」に記載のとおり、上記の発行価額の総額は、後記「(13) 引受け等の概要」に記載の引受人（以下「引受人」といいます。）の買取引受けによる払込金額の総額です。発行価額の総額は、本書の日付現在における見込額です。

<訂正後>

66,947,867,500円

(注) 後記「(13) 引受け等の概要」に記載のとおり、上記の発行価額の総額は、後記「(13) 引受け等の概要」に記載の引受人（以下「引受人」といいます。）の買取引受けによる払込金額の総額です。発行価額の総額は、本有価証券届出書の訂正届出書の日付現在における見込額です。

##### (5)【発行価格】

<訂正前>

(前略)

(注2) 発行価格の決定に当たり、平成28年1月27日(水)に仮条件を提示する予定です。提示される仮条件は、本投資法人が本書の日付現在において保有し又は取得予定の資産の内容その他本投資法人に係る情報、本投資口の価格算定を行う能力が高いと推定される機関投資家等の意見その他を総合的に勘案し決定する予定です。

(後略)

<訂正後>

(前略)

(注2) 発行価格の仮条件は、1口当たり92,000円以上100,000円以下の価格とします。当該仮条件は、本投資法人が本書の日付現在において保有し又は取得予定の資産の内容その他本投資法人に係る情報、本投資口の価格算定を行う能力が高いと推定される機関投資家等の意見その他を総合的に勘案し決定しました。

(後略)

##### (15)【手取金の使途】

<訂正前>

国内一般募集における手取金72,125,000,000円については、国内一般募集と同日付をもって決議された海外募集における手取金32,955,000,000円と併せて、後記「第二部 ファンド情報/第1 ファンドの状況/2 投資方針/(2) 投資対象/③ 取得予定資産の概要」に記載の本投資法人が取得を予定している不動産信託受益権（以下「取得予定資産」といいます。）の取得資金の一部に充当する予定です。なお、本件第三者割当による新投資口発行の手取金上限4,770,000,000円については、取得予定資産の取得資金として借入れる借入金の返済資金の一部に充当する予定です。

(中略)

(注2) 上記の手取金は、本書の日付現在における見込額です。

<訂正後>

国内一般募集における手取金66,947,867,500円については、国内一般募集と同日付をもって決議された海外募集における手取金30,589,490,100円と併せて、後記「第二部 ファンド情報/第1 ファンドの状況/2 投資方針/(2) 投資対象/③ 取得予定資産の概要」に記載の本投資法人が取得を予定している不動産信託受益権（以下「取得予定資産」といいます。）の取得資金の一部に充当する予定です。なお、本件第三者割当による新投資口発行の手取金上限4,427,609,400円については、取得予定資産の取得資金として借入れる借入金の返済資金の一部に充当する予定です。

(中略)

(注2) 上記の手取金は、本有価証券届出書の訂正届出書の日付現在における見込額です。

## 2 【売出内国投資証券（オーバーアロットメントによる売出し）】

### (4) 【売出価額の総額】

<訂正前>

4,770,000,000円

(注) 売出価額の総額は、本書の日付現在における見込額です。

<訂正後>

4,579,200,000円

(注) 売出価額の総額は、本有価証券届出書の訂正届出書の日付現在における見込額です。

## 第5 【募集又は売出しに関する特別記載事項】

### 1 海外市場における本投資口の募集について

#### ② 海外募集における発行価額の総額

<訂正前>

32,955,000,000円

(注) 海外募集における発行価額の総額は、本書の日付現在における見込額です。

<訂正後>

30,589,490,100円

(注) 海外募集における発行価額の総額は、本有価証券届出書の訂正届出書の日付現在における見込額です。

### 3 ロックアップについて

<訂正前>

- ① 本募集に関連して、指定先に、ジョイント・グローバル・コーディネーターに対し、平成28年2月4日（木）から平成29年2月10日（金）までの期間中、ジョイント・グローバル・コーディネーターの事前の書面による同意なしには、本投資口の売却等（但し、オーバーアロットメントによる売出しに伴う本投資口の貸渡し等を除きます。）を行わない旨を約していただく予定です。

ジョイント・グローバル・コーディネーターは、上記の期間中であってもその裁量で、当該合意の内容の一部又は全部につき解除できる権限を有する予定です。

(後略)

<訂正後>

- ① 本募集に関連して、指定先は、ジョイント・グローバル・コーディネーターに対し、平成28年2月4日（木）から平成29年2月10日（金）までの期間中、ジョイント・グローバル・コーディネーターの事前の書面による同意なしには、本投資口の売却等（但し、オーバーアロットメントによる売出しに伴う本投資口の貸渡し等を除きます。）を行わない旨を合意しています。

ジョイント・グローバル・コーディネーターは、上記の期間中であってもその裁量で、当該合意の内容の一部又は全部につき解除できる権限を有しています。

（後略）

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 5【運用状況】

##### （2）【投資資産】

##### ④ 借入れの予定

<訂正前>

（前略）

（注4）基準金利は、一般社団法人全銀協TIBOR運営機関が公表する日本円Tiborをいいます。返済期限が借入実行日より5年後の応当日又はそれを超える借入れについては、その一部又は全部について、金利スワップ契約等により、支払金利の固定化を検討します。

（後略）

<訂正後>

（前略）

（注4）基準金利は、一般社団法人全銀協TIBOR運営機関が公表する日本円Tiborをいいます。返済期限が借入実行日より5年後の応当日又はそれを超える借入れについては、その一部又は全部について、金利スワップ契約等により、支払金利の固定化を検討します。また、返済期限を借入実行日より5年後の応当日以降とする借入れについては、固定金利での借入れも検討します。

（後略）

## 第四部【その他】

<訂正前>

（前略）

6. 目論見書の表紙以降並びに裏表紙及び裏表紙裏以前に、以下の内容をカラー印刷して記載します。

（中略）

「Financial STRATEGY」

（中略）

「借入金の返済期限の分散状況及びバンクフォーメーション」

（中略）

（注）返済期限が借入実行日より5年後の応当日又はそれを超える借入れについては、その一部又は全部について、金利スワップ契約等により、支払金利の固定化を検討します。

（後略）

<訂正後>

(前略)

6. 目論見書の表紙以降並びに裏表紙及び裏表紙裏以前に、以下の内容をカラー印刷して記載します。

(中略)

「Financial STRATEGY」

(中略)

「借入金の返済期限の分散状況及びバンクフォーメーション」

(中略)

(注) 返済期限が借入実行日より5年後の応当日又はそれを超える借入れについては、その一部又は全部について、金利スワップ契約等により、支払金利の固定化を検討します。また、返済期限を借入実行日より5年後の応当日以降とする借入れについては、固定金利での借入れも検討します。

(後略)